

2018年度活動報告

昨年の総会で、2018年度の活動方針を次の通り決めました。

1. 今年度の目標として、事業規模は前年度と同程度をめざし、事業内容では、利用者や家族とともに安心して在宅生活が維持できるよう支援計画を重視します。
職員の高齢化は避けられませんが、職員の健康管理並びに処遇改善に引き続き取り組みます。
2. 医療的ケアの必要な利用者に対する支援を重視します
医療的ケアを担う事業所が極端に少ない大津市の現状から、喀痰吸引等の医療的ケアの必要な利用者は今後も増えることが予測されます。当法人に依頼のあるケースには出来得る限り応え、家族支援に取り組みます。
またこれまで重症障害児に対するサービス提供はありませんでしたが、昨年12月Kさんの母親からの訴えを“もも”の職員が聞き、関係者が相談し、このほどサービス提供に結び付くことができました。障害児の親たちがいかに情報が行き届いていないかを知ると同時に、これまで障害児の親たちに関わってきた諸機関の問題意識の不十分さに接し、改めて当法人として障害児に対する取り組みを始める必要を痛感しました。今後、この分野にも取り組まなければなりません。
3. 重症難病患者の災害対策について
重症難病患者の災害対策が不十分なもとの、患者・家族は日頃から災害への自助力をつけることが求められています。そのために、保健所等関係機関は重症難病患者の一人一人の避難計画を患者・家族とともに作り上げ、実際の災害を想定した防災訓練が必要です。
4. 社会保障制度改悪に反対し、介護保障をはじめ福祉制度拡充のために闘います
今国会の介護保険法改悪をはじめ医療保険、年金制度の充実のために学習に努め、福祉制度拡充をめざす運動に参加します。他の社会の動きにも目を向け、物の見方、考え方に無関心でない人材づくりに努めます。
5. 原子力発電に依存しない自然エネルギーの普及や平和問題にも取り組みます
6. 定款に掲げる方針の実現をめざし、日本ALS協会滋賀県支部はじめ関係機関と連携し、運動を進めます。

この方針に基づき活動をしてきました。その経過と結果は以下の通りです。

1. 事業規模は同程度をめざす。職員の処遇改善に取り組む。
2017年度の経常収入は51,197,049円、2018年度は50,700,895円で、管理費は2017年度37,417,768円、

2018年度 38,316,228 円で、2018年度の事業収益に占める事業費の割合は、75.5%でした。(数字は確定ではありません)

職員の処遇改善は、一昨年度に引き続き昨年度も賞与を年 2 回支給することができました。賞与の算定についても、これまでの基本給に加え、朝夜深夜手当・業務加算・資格手当等諸手当を含むこととしました。退職金規定に基づく退職金を中小企業退職金共済に加盟し 2 年を経過しました。健康管理に関しては検診費用並びにインフルエンザ予防接種料金を法人で負担することにしました。*決算事務が出来次第修正します。

2. 医療的ケアに引き続き取り組む

2019年4月1日現在の医療的ケアを提供しているケースは次のとおりです。

	口腔・鼻腔内	気管カニューレ内	胃瘻経鼻による経管栄養	摘要
○藤 孝○	24.5.1～	25.5.1～	25.5.1～	M/4
塩○み○子	たまに実施		26.1.23～	W/7 複数回
保○ 一○	27.5.25～		27.5.25～	W/6
安○ ○子	27.1.29～		27.1.29～	W/2
田○ ○子	31.1～			W/2
中○ ○子	25.5.1～		25.5.1～	長期入院中
○尾 桂○	27.2.4～	28.2.4～	27.2.4～	W/5 複数回
山○ ○子	31.3.1～			W/5
浦○ ○音			30.4～	W/1
本○ ○輝			30.9～	W/2
山○美○子	31.4～			M/2 回程度

大津市内ケアマネージャーから吸引注入等の依頼がありましたが、体制上受けることができずお断りをしました。また、他市町の関係機関からの依頼もありましたが体制上と遠距離のためお断りしました。しかしながら事情を聴かされると断り切れず結果として受け入れているケースもあります。

ヘルパーの高齢化(平均年齢4月1日現在63.2歳)は避けられず、引き続きヘルパーの求人が必要です。

3. 重症難病患者の災害対策について

大津市保健所に情報提供し、ALS患者○尾桂○氏の「災害時対応ノート」が完成できました。しかし、吉○○雄氏のように地域の方々と一緒になって災害訓練にまでには及びませんでした。引き続き課題です。

4. 社会保障制度改悪に反対し、介護保障をはじめ福祉制度拡充のために闘う

2019年度政府予算は、社会保障費だけみても安倍政権の7年間で4兆2720億円の削減とされています。生活保護基準以下の世帯も2016年度28.1%と全世帯の3割近くが生活保護水準以下の貧困層です。当法人の社会保障改善の活動は十分とはいえませんが、

昨年 12 月 大津社会保障推進協議会が結成され、葛城理事長が会長に推されたことは特筆すべきことです。また、葛城理事長は 2017 年の博士論文をもとに『難病患者運動——ひとりぼっちの難病者をなくす「滋賀県難病連の歴史」』が 2 月に発刊されたことは、難病患者運動並びに特定非営利活動法人 ALS しがネットの運動にとって高く評価できます。

5. 原子力発電に依存しない自然エネルギーの普及に努める。

当法人として自然エネルギーを使用することにより、地球温暖化に歯止めをかける一助になるべく 2016 年 10 月から太陽光による売電を実施してきました。2018 年 3 月～2019 年 2 月までの年間消費電力代は 50,870 円、同年月の年間売電力代は 140,306 円でした。CO2 排出量の削減に多少なりとも貢献できました。しかし、平和問題には取り組むことができませんでした。

6. 日本 ALS 協会滋賀県支部との連携

日本 ALS 協会滋賀県支部の奮闘により特定非営利活動法人 ALS しがネットは 2010 年 8 月に誕生し 9 年目に入りました。しがネットが結成されるまでは、葛城・福井は滋賀県支部で活動してきましたが、結成されてからはしがネットに軸足がおかれ、滋賀県支部の活動のほとんどが水江の肩に係る結果となっています。当面は協力協同の活動を続けつつ、滋賀県支部を結成した原点を見失わず、患者・家族の療養環境改善の運動を続けなければなりません。

平成30年度 活動計算書
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人ALSしがネット

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 経常収益			
1 会費・入会金収入			
会費	-	-	-
入会金	-	-	-
2 事業収益			
訪問介護・居宅介護支援事業	51,165,612	51,197,049	-31,437
3 寄付金収入			
寄付金	-	-	-
4 その他収益			
受取利息	6	109	-103
雑収入	140,306	144,150	-3,844
経常収益計	51,305,924	51,341,308	-35,384
II 経常費用			
1 事業費			
給料手当	31,388,774	29,177,882	2,210,892
法定福利費	2,151,425	1,953,462	197,963
福利厚生費	814,300	870,730	-56,430
事業費計	34,354,499	32,002,074	2,352,425
2 管理費			
会議費	114,068	73,008	41,060
旅費交通費	422,311	362,319	59,992
広告宣伝費	26,200	33,499	-7,299
研修費	118,580	12,316	106,264
接待交際費	21,645	42,770	-21,125
通信費	267,496	366,624	-99,128
荷造運賃	-	-	-
備品消耗品費	233,682	74,662	159,020
事務用消耗品費	146,194	138,106	8,088
水道光熱費	75,845	68,976	6,869
新聞図書費	77,439	45,120	32,319
修繕費	2,700	11,220	-8,520
支払手数料	575,944	532,030	43,914
地代家賃	1,650,000	2,230,382	-580,382
諸会費	20,800	17,800	3,000
保険料	221,535	218,135	3,400
租税公課	88,700	107,115	-18,415
減価償却費	760,978	898,132	-137,154
諸費	201,490	183,480	18,010
管理費計	5,025,607	5,415,694	-390,087
経常費用計	39,380,106	37,417,768	1,962,338
当期経常増減額	11,925,818	13,923,540	-1,997,722
税引前当期正味財産増減額	11,925,818	13,923,540	-1,997,722
法人税、住民税及び事業税	3,021,400	4,245,100	-1,223,700
税引後当期正味財産増減額	8,904,418	9,678,440	-774,022
前期繰越正味財産増減額	42,204,422	32,525,982	9,678,440
次期繰越正味財産増減額	51,108,840	42,204,422	8,904,418

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人ALSしがネット

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	40,724	271,511	-230,787
普通預金	30,704,407	21,901,675	8,802,732
定期預金	13,000,000	13,000,000	-
立替金	-	-	-
未収入金	8,885,109	8,357,370	527,739
短期貸付金	-	350,000	-350,000
流動資産合計	52,630,240	43,880,556	8,749,684
2. 固定資産			
造作	1,003,444	1,159,824	-156,380
建物付属設備	596,863	688,422	-91,559
構築物	804,245	927,617	-123,372
機械装置	1,453,102	1,647,507	-194,405
什器備品	175,894	293,156	-117,262
ソフトウェア	149,500	227,500	-78,000
長期前払金	631,740	473,805	157,935
固定資産合計	4,814,788	5,417,831	-603,043
資産合計	57,445,028	49,298,387	8,146,641
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,874,485	2,478,513	395,972
預り金	440,303	370,352	69,951
未払法人税等	3,021,400	4,245,100	-1,223,700
流動負債合計	6,336,188	7,093,965	-757,777
負債合計	6,336,188	7,093,965	-757,777
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	42,204,422	32,525,982	9,678,440
当期正味財産増減額	8,904,418	9,678,440	-774,022
正味財産合計	51,108,840	42,204,422	8,904,418
負債及び正味財産合計	57,445,028	49,298,387	8,146,641

平成30年度 財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人ALSしがネット
(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
(現金・預金)			
現金	現金手許有高	40,724	
普通預金	郵便振替口座	19,783,948	
	郵便貯金	10,030,053	
	滋賀銀行県庁支店	890,406	
		30,704,407	
定額貯金	郵便貯金	13,000,000	
現金・預金 計		43,745,131	
(その他流動資産)			
未収入金	滋賀県国民健康保険団体連合会	8,885,109	
その他流動資産計		8,885,109	
流動資産合計			52,630,240
2. 固定資産			
(有形固定資産)			
造作	賃貸建物 内部造作	1,003,444	
建物付属設備	システムキッチン他	596,863	
構築物	境界・ガレージ舗装	804,245	
機械装置	太陽光発電設備	1,453,102	
什器備品	コピー複合機	175,894	
有形固定資産 計		4,033,548	
(無形固定資産)			
ソフトウェア	ケアマネ LAN対応ソフト	149,500	
(投資その他の資産)			
長期前払金	アフラック 長期前払保険料	631,740	
固定資産合計			4,814,788
資産合計			57,445,028
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	従業員給料・社会保険料	2,874,485	
預り金	源泉預り金・社会保険料預かり金	440,303	
未払法人税等	31年3月確定分	3,021,400	
流動負債合計			6,336,188
負債合計			6,336,188
III 正味財産			
			51,108,840